

浦賀行政センター集会室天井改修工事

図面リスト	
図面番号	タイトル
A-01	特記仕様書
A-02	案内図・配置図・工事概要・工事区分・仕上表
A-03	各階平面図
A-04	集会室天井伏図（既存・改修）
A-05	集会室断面図（既存・改修）
A-06	膜天井 下地材割付図・詳細図-1
A-07	膜天井 詳細図-2
A-08	膜天井 詳細図-3
A-09	膜天井 詳細図-4
A-10	集会室屋根鉄骨伏図（既存）、耐火材改修図
A-11	仮設計画図（参考）

特記仕様書				章 項目			特記事項			章 項目			特記事項		
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>① 項目欄は番号等に ○ 印を付したものを適用する。</p> <p>② 項目欄に ○ 印を付し特記事項欄に ○ 印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③ 特記事項は ○ 印を付したものを適用する。但し ○ 印の付かない場合は ○ 印の付した事項を採用する。○ 印と ○ 印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官務部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版</p> <p>4. その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する ・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする ・各項目欄の番号(例：●○○○章、●○○○)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する ・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする 				<p>9.1 完成時の提出図書</p> <p>① 完成図</p> <p>完成提出図書： ※1.9.2及び1.9.3による ・協議による ・図示</p> <p>種類： ※表1.9.1 ・一般図 ・実施設計図一式</p> <p>記入内容： ※表1.9.1 ・図示 ・</p> <p>提出書類： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原因(CAD作図による)</p> <p>・CADデータ ・</p> <p>施工計画書： ○監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮刷版第2原因 ・CADデータ</p> <p>○監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>9.3 保全に関する資料</p> <p>① 現地調査</p> <p>・保全に関する資料 提出部数： ※各2部 ・部</p> <p>○施工図作成に当たっては、現地調査を行い現場各所の寸法を再確認後施工図の作成を行う事</p>			<p>6.4 工 法</p> <p>既存埋込インサートの使用： ・使用する ・使用しない</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験： ・行わない ・行う</p> <p>試験法： ・標準仕様書6.6.4(1)(ウ)による ・図示 ・</p> <p>屋外の引抜き試験の箇所： ・図示 ・屋内と同程度 ・</p> <p>切断された天井下地の補強方法： ・図示</p> <p>屋外の野天井、ピロティーター天井の補強：</p> <p>・図示 ・</p> <p>・天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。</p> <p>・吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。</p>								
<p>④ 工事実施情報登録</p> <p>1.* 建築基準法の風圧</p> <p>・積雪に関する規定</p> <p>3.3 電気保安技術者</p> <p>⑤ 施工条件</p> <p>施工順序等の制約： ○無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・</p> <p>工事車両の駐車場所： ・図示 ・現場説明書による ○敷地内</p> <p>資材、機材置場： ・図示 ・現場説明書による ○敷地内</p> <p>発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ・</p> <p>その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ○施設管理者との協議による</p> <p>○現場説明書による。</p> <p>⑥ 発生材の処理等</p> <p>⑦ 使用材料</p> <p>○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>6.2 施工数量調査</p> <p>調査範囲： ・図示 ・</p> <p>調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・</p> <p>6.3 調査のための</p> <p>破壊部分の補修</p> <p>7.5 施工の検査等</p> <p>7.9 化学物質の濃度測定</p> <p>濃度測定： ・未実施 ・実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質： ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・図示 ・</p> <p>測定方法： ・簡易法 ・パンプ型採取機器 ・測定パッジ；</p> <p>測定対象室： ・図示 ・</p> <p>測定箇所数： ・図示 ・箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p>				<p>1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>② 足場等</p> <p>騒音・粉じん等の対策： ・防音パネル ・防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲： ・図示 ・</p> <p>内部足場の種類： ○脚立 ○定増板 ・ローリングｸﾞﾗｰ ○枠組み組足場</p> <p>外部足場の設置、種類： ○設置しない ・設置する【・枠組足場 ・単管足場 ・】</p> <p>保護シートの設置： ○設置する ・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法： ・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種</p> <p>③ 既存部分の養生</p> <p>既存部分養生材料： ○ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法：</p> <p>・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置 ・</p> <p>仮設間仕切り：</p> <p>設置箇所： ・図示 ・</p> <p>種 別： ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>仮設扉： ・不要 ・必要【設置箇所： ・図示 ・任意の場所 ・】</p> <p>仮設扉の種類： ・鋼製 ・木製 ・図示 ・</p> <p>監督職員事務所等の設置： ・必要 ○不要</p> <p>○監督員事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室 () m² を含む)</p> <p>・()号に会議室 () m² を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</p> <p>受注者事務所の設置： ・必要 ・不要</p> <p>○受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室 () m² を含む)</p> <p>・()号に会議室 () m² を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</p> <p>④ 工事用水及び電力</p> <p>構内既存の用水施設： ・利用できない○利用できる(・有償・無償○施設管理者と協議)</p> <p>構内既存の電力施設： ・利用できない・利用できる(・有償・無償○施設管理者と協議)</p> <p>○動力以外利用できる(・有償・無償○施設管理と協議)</p>			<p>7 章</p> <p>7.2 3鉄鋼面の下地調整</p> <p>① 鉄鋼面の下地調整</p> <p>② 鉄鋼面の素地ごしらえ</p> <p>③ 塗料の種類</p> <p>④ 錆止め塗料塗り</p> <p>1. 共通事項</p> <p>塗料の防火材料の指定： ・図示 ○無 ・有(</p> <p>2. 下地調整</p> <p>塗装面の種類</p> <p>種 別</p> <p>鉄鋼面</p> <p>・RA種 ※RB種 ・RC種</p> <p>3. 素地ごしらえ</p> <p>鉄鋼面の素地ごしらえ： ・A種 ・B種 ○C種</p> <p>4. 錆止め塗料塗り</p> <p>鉄鋼面： ○A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種</p> <p>鉄鋼面： ・A種 ○B種 ・C種</p>			<p>1 0 章</p> <p>① 1 膜天井工事</p> <p>② 2 下地金物工事</p> <p>③ 3 その他</p> <p>1. 膜の材料</p> <p>○塩化ビニル樹脂系被覆ガラス繊維クロス</p> <p>アクリル系樹脂系被覆ガラス繊維クロス</p> <p>○不燃認定品(建築基準法第2条第9号)NM-5176</p> <p>1. 膜定着金物</p> <p>○アルミ押出型材(材質：A6063-T5)アルマイトクリア塗装</p> <p>2. 金物</p> <p>○高耐久換性メッキ鋼板</p> <p>○溶融亜鉛メッキ鋼板</p> <p>○電気亜鉛メッキ</p> <p>○天井膜材 SA-2(不燃吸音膜材)同等品以上。</p> <p>○天井面構成部材等は2kg/m²以下の施工とすること。</p> <p>○躯体取合部は監督員と協議の上、決定すること。</p>					
<p>6 章</p> <p>① 1 耐火被覆性能、品質等</p> <p>② 1 耐火被覆性能、品質等</p> <p>1. 共通事項</p> <p>既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： ※壁厚程度 ・図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： ※両側600mm程度 ・図示</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： ※既存のまま ○図示</p> <p>既存部分の撤去工法：</p> <p>・適用する【・標準仕様書6.2 ・標準仕様書6.3 ・標準仕様書6.4】 ・図示</p> <p>新設下地の工法：</p> <p>・適用する【・標準仕様書6.5 ・標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ・図示</p> <p>仕上げの工法： ※該当の有無により適用する ・図示</p> <p>6.2 材 料</p> <p>6.3 形式及び寸法</p> <p>6. 軽量鉄骨天井下地</p> <p>種類： ※表6.6.11による ・屋内19形</p> <p>屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ・≒≒900mm ・</p> <p>屋外の野縁の間隔： ※表6.6.2による ・</p>				<p>1 1 章</p> <p>① 1 耐火被覆性能、品質等</p> <p>○耐火性能は1時間耐火とする。</p> <p>○耐火被覆は、取付け強度及び付着強度が十分であるものとする。</p> <p>○十分な養生を行い、周辺への飛散防止に努める。</p> <p>○耐火補修材の採用に関しては監督員と協議の上、決定すること。</p>			<p>1 1 章</p> <p>耐火被覆修復旧工事</p>								
				<p>章</p> <p>部 位</p> <p>メーカー品名・品目・品番</p> <p>備 考</p> <p>膜材料</p> <p>リフォジュール株式会社 不燃吸音膜天井システム SA-2同等以上</p>											

工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格氏名	課長	主査等	担当者
図面名称	特記仕様書	図番	A-01	縮尺	NON	作図	令和4年11月 日
横須賀市 都市部 公共建築課							



案内図 S=1:2500

浦賀行政センター
横須賀市浦賀5丁目1番2号

工事概要

- 集會室天井改修工事に伴う建築工事
- ・天井改修（既存全面撤去後、新規不燃膜天井）

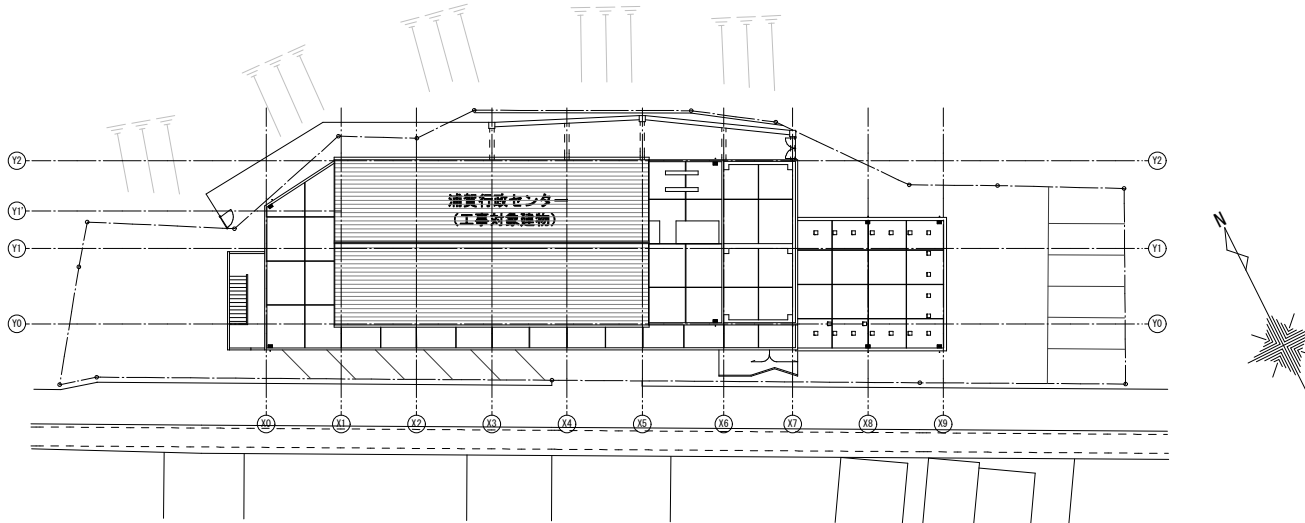
- 電気設備工事（別途工事）
- ・天井改修に伴う電気設備改修

工事区分

No	工事内容	建築 (別途工事)	電気 (別途工事)	備考
1	仮設足場	○		
2	発生材選搬・処分	○	○	
3	天井付各種電気設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○		
4	天井付各種電気設備器具取付、取付金物		○	
5	耐火被覆の復旧	○		

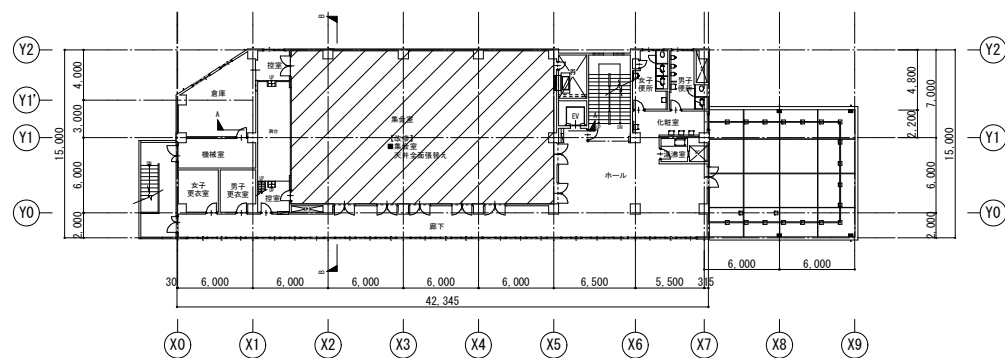
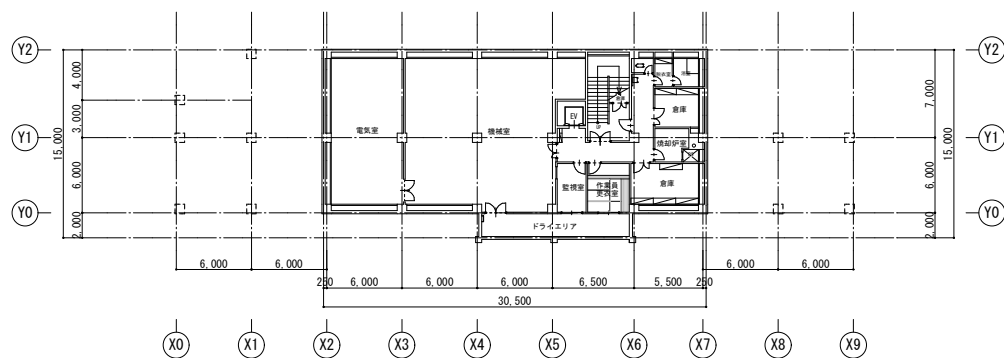
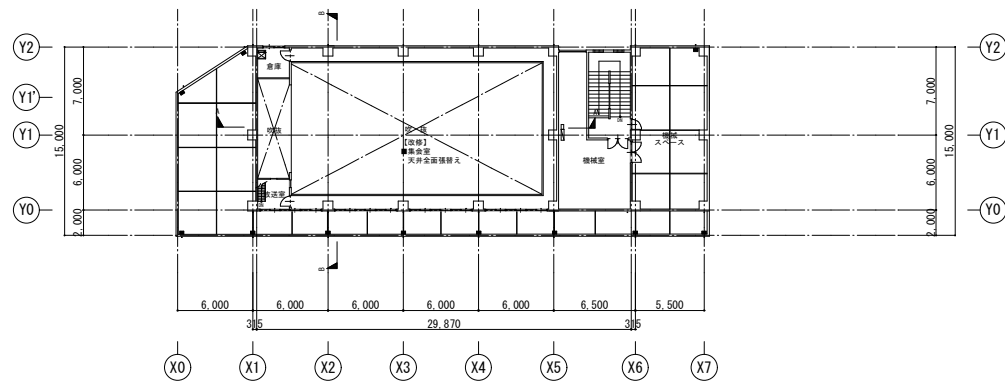
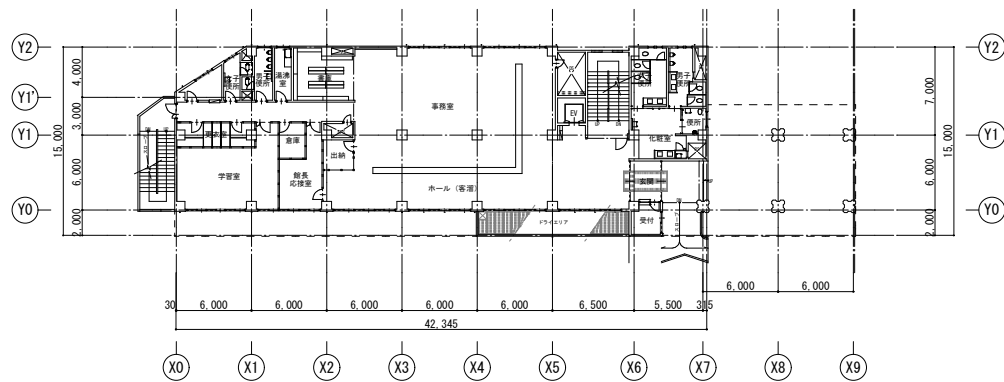
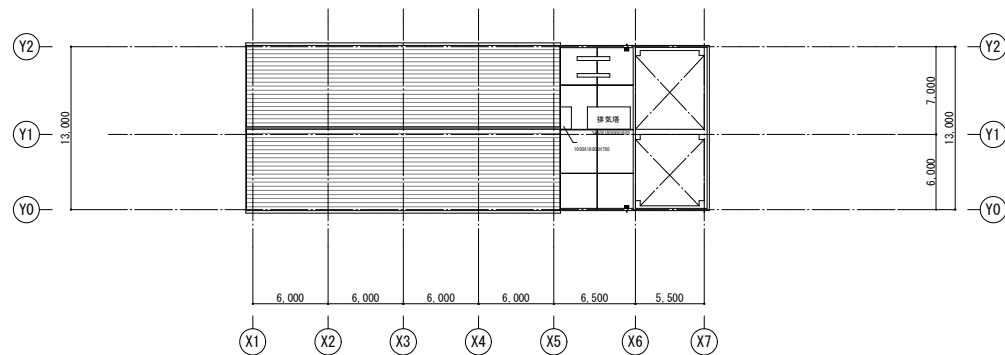
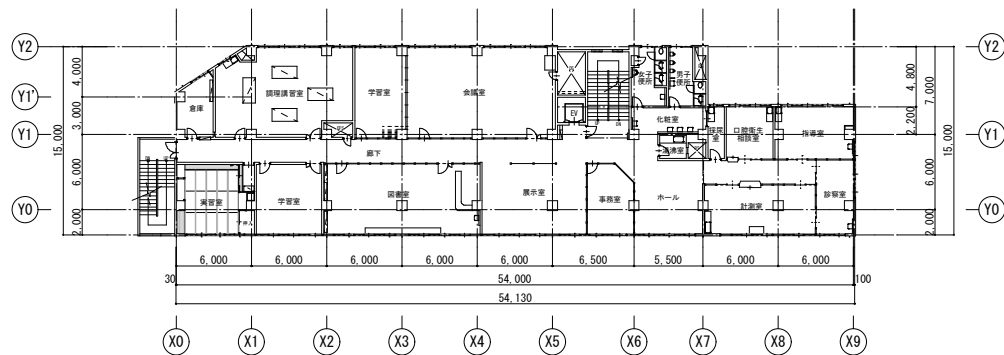
仕上表

室名	部位	既存	改修
3階 集會室	天井	化粧石膏ボード t=9.5全面撤去 天井内天井下地取付部分耐火材一部撤去	【05系材共撤去】 【改修】不燃膜天井に改修 天井内天井下地取付部分耐火材復旧
	壁	化粧種燃合板 t=5.5	既存のまま
	巾木	ラワン t=21、H=85 伊達装	既存のまま
	床	鋼製床下地 構造用合板 t=15の上 横フローリング t=18ポリウレタン塗装	既存のまま
	備考		

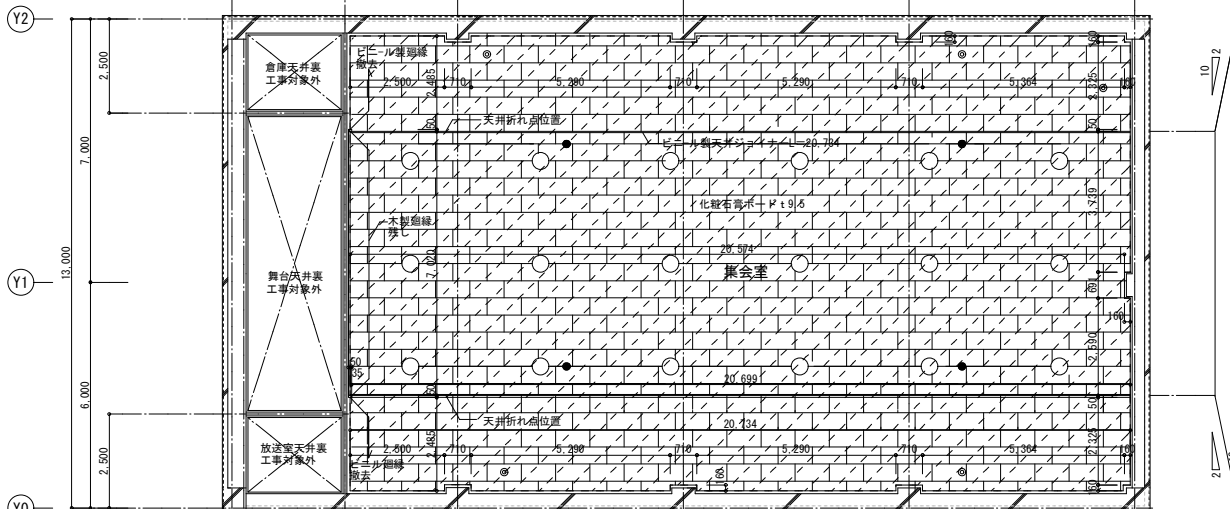


配置図 S=1:300

工事名	浦賀行政センター集會室天井改修工事			設計者資格 氏名	課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	案内図・配置図・工事概要・工事区分・仕上表	図番	A-02	縮尺	1:300, 1:2500(A2)	作図	令和4年11月 日	

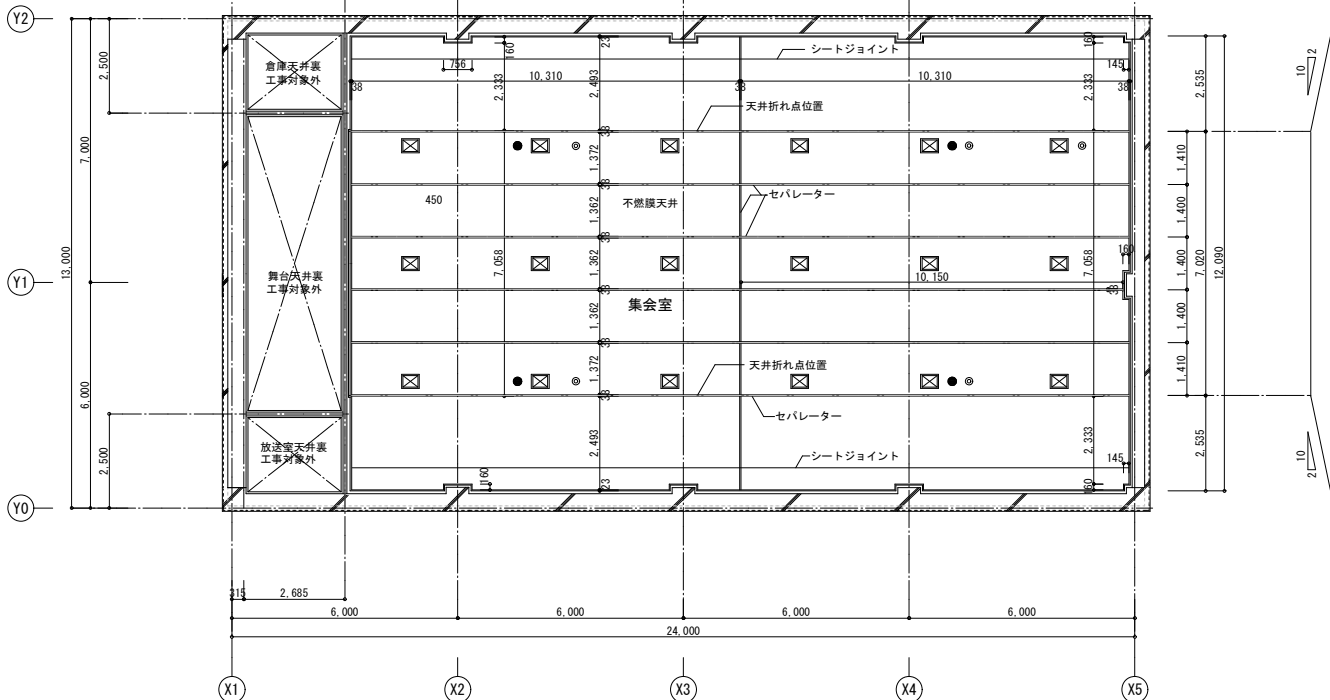


工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	各階平面図	図番	A-03	縮尺	1:300(A2)	作図	令和 4年 11月 日		



- 照明撤去 (電気設備工事)
- ◎ 感知器撤去 (電気設備工事)
- 非常用照明撤去 (電気設備工事)
- ▭ 天井撤去範囲 化粧石膏ボード t 9.5 (軽量鉄骨下地、吊りボルトを含み撤去)

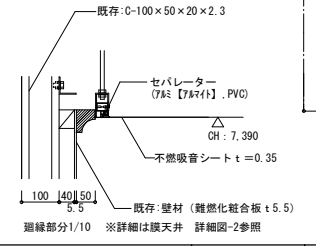
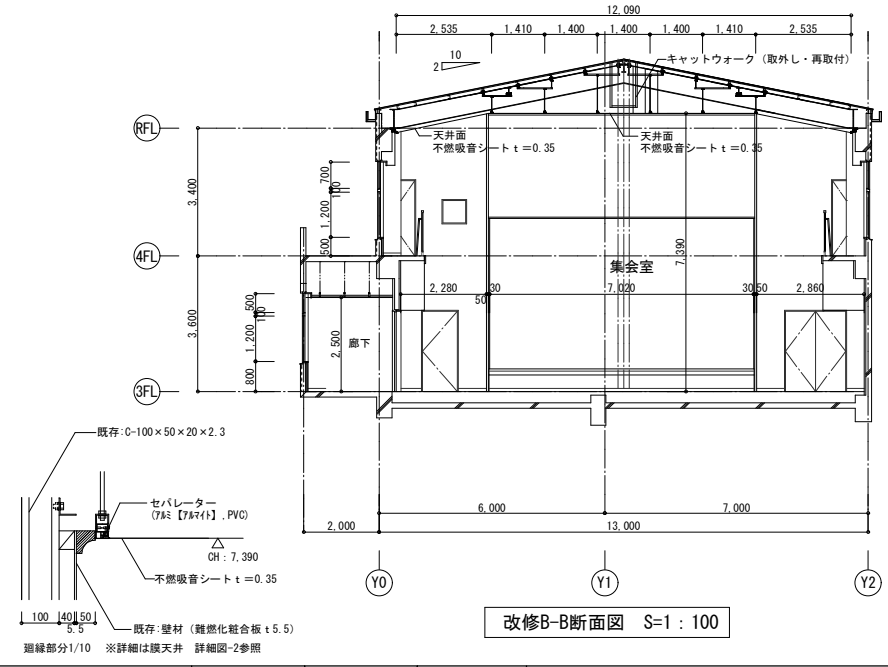
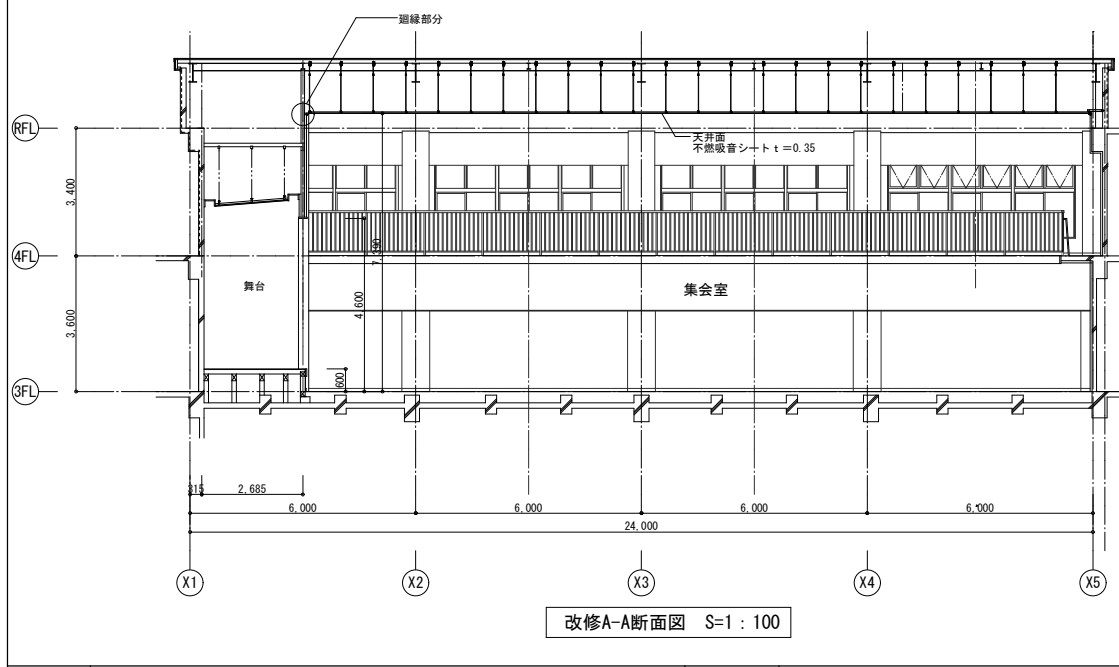
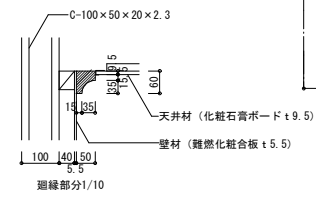
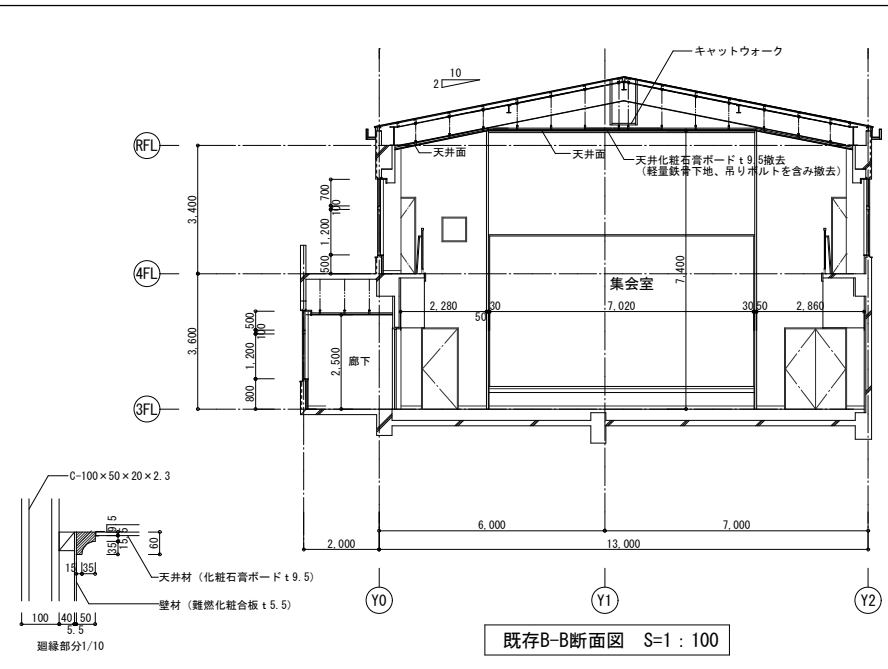
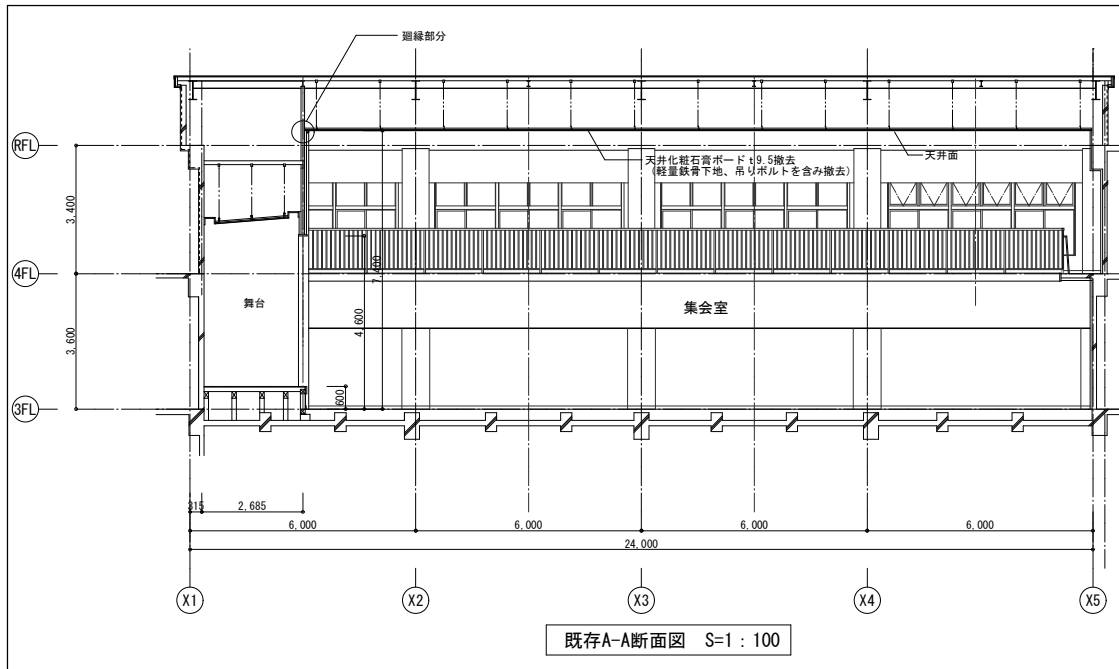
既存天井伏図 S=1 : 100



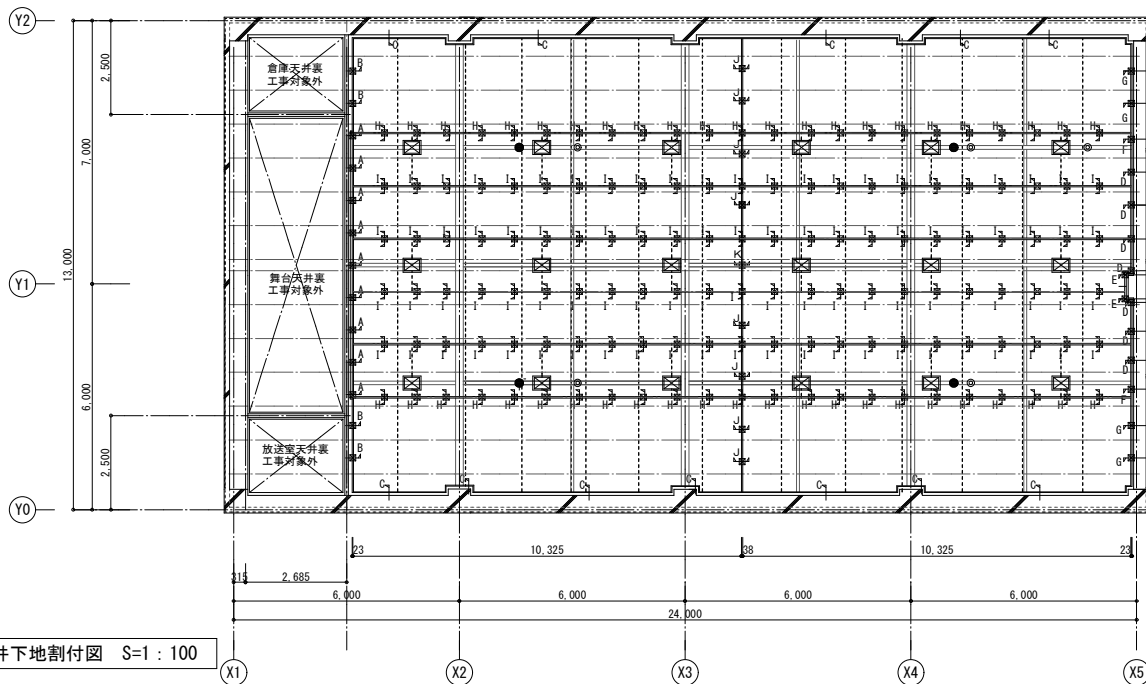
- ▭ 新設照明器具 (400×300) (電気設備工事)
- 非常用照明200φ (電気設備工事)
- ◎ 感知器 開口100φ (電気設備工事)

改修天井伏図 S=1 : 100

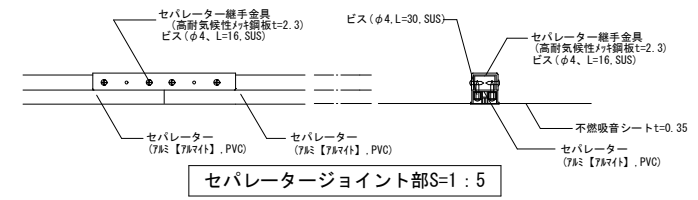
工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格 氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	集会室天井伏図 (既存・改修)	図番	A-04	縮尺	1 : 100 (A2)	作図	令和 4 年 11 月 日		



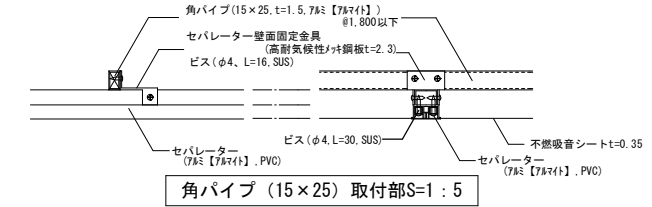
工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事	設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	集会室断面図 (既存・改修)	図番	A-05	縮尺	1 : 100 (A2)	作図	



天井下地割付図 S=1:100

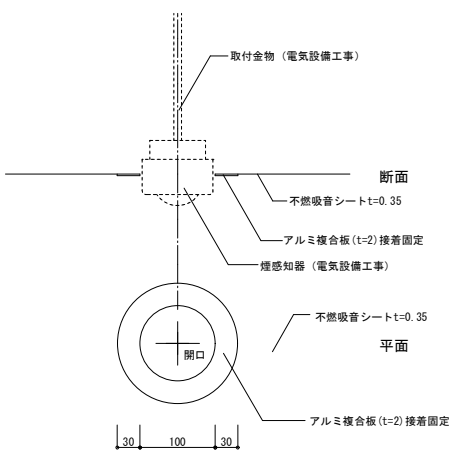


セバレータージョイント部 S=1:5



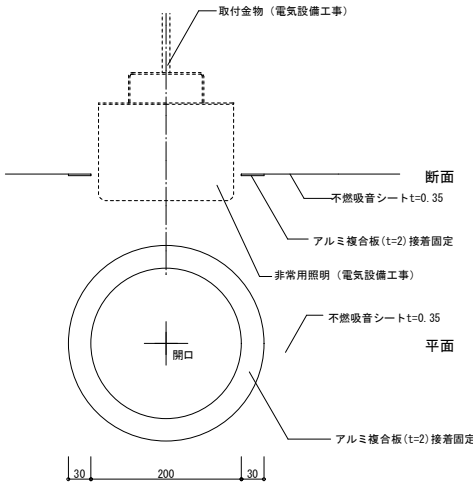
角パイプ (15x25) 取付部 S=1:5

- ☒ 新設照明器具 (400x300) (電気設備工事)
- 非常用照明200φ (電気設備工事)
- ⊗ 感知器 開口100φ (電気設備工事)
- ⊙ 吊りボルト@900以下 (端部からも含む)
- 角パイプ@1800以下 (15x25, 7φ2【7φ2】処理)



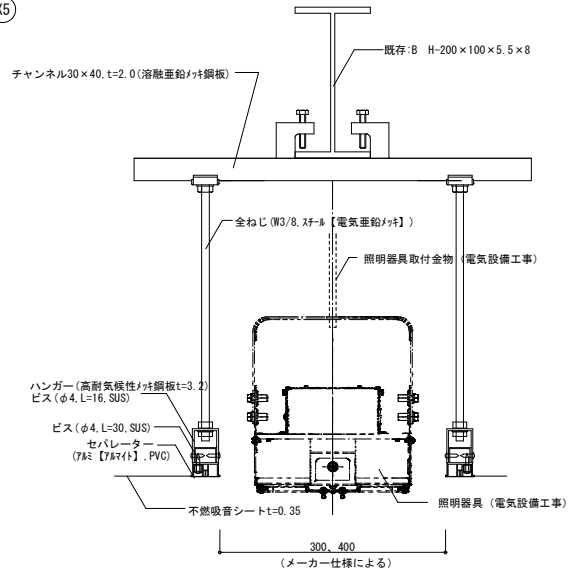
感知器廻り詳細図 S=1:5

※参考納まり図



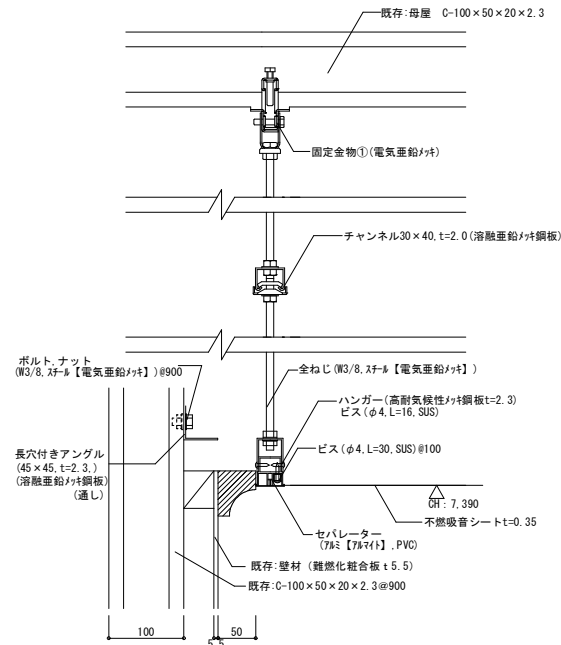
非常用照明廻り詳細図 S=1:5

※参考納まり図

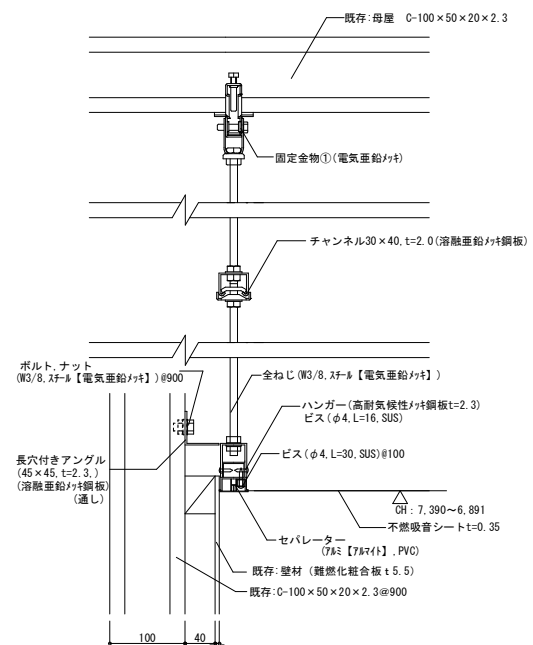


照明器具廻り詳細図 S=1:5

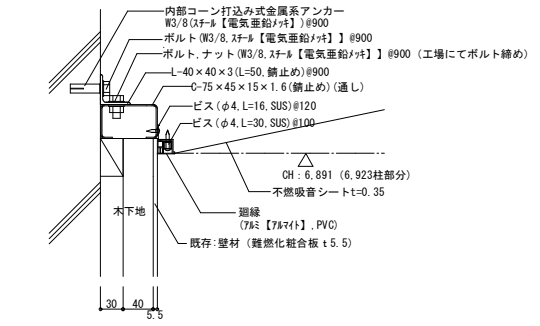
工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事	設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	膜天井 下地材割付図・詳細図-1	図番	A-06	縮尺	1:5, 1:100(A2)	作図	



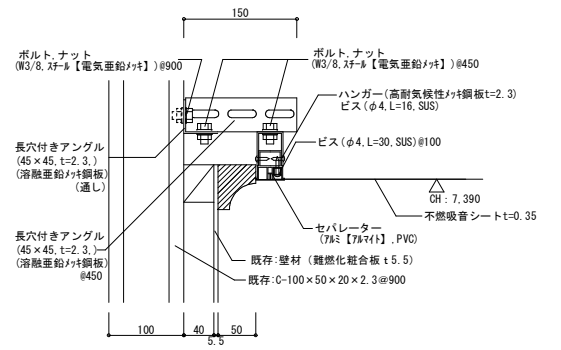
A断面 詳細図 S=1:5



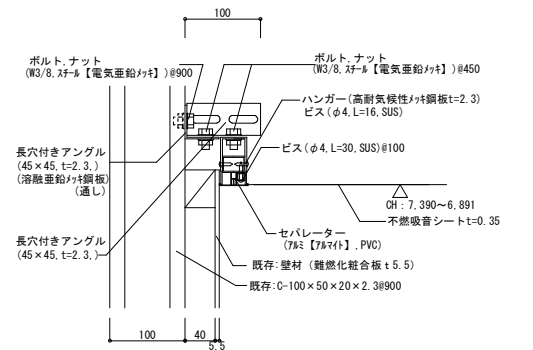
B断面 詳細図 S=1:5



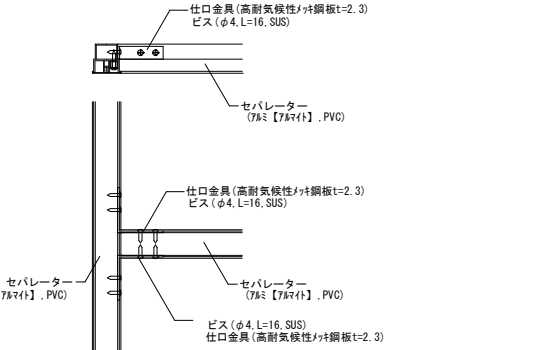
C断面 詳細図 S=1:5



A断面 詳細図 S=1:5

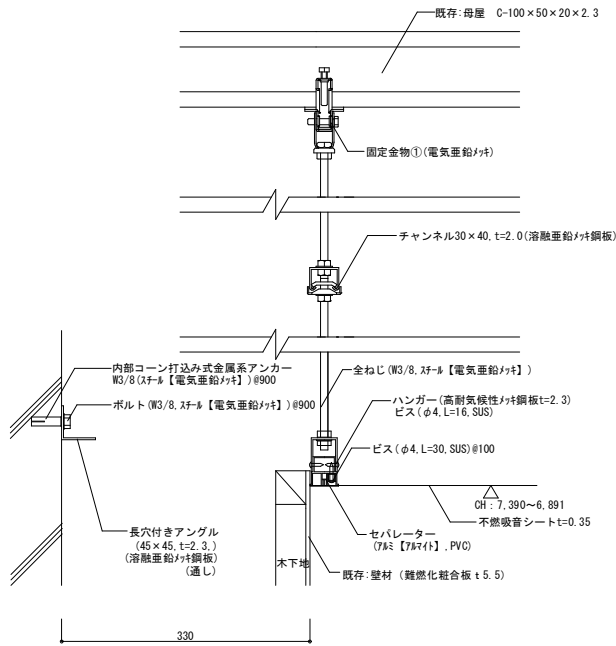


B断面 詳細図 S=1:5

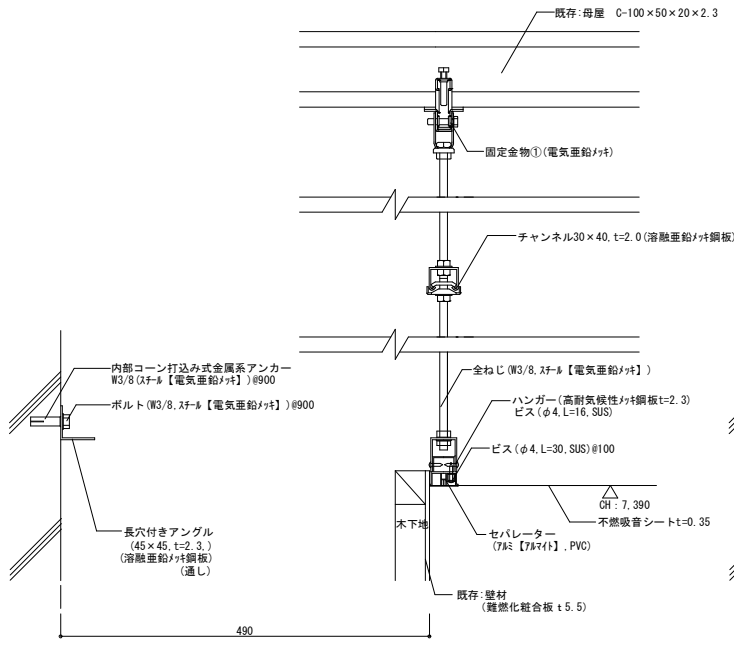


セパレーター交差 取付部 S=1:5

工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	膜天井 詳細図-2	図番	A-07	縮尺	1:5 (A2)	作図	令和 4年 11月 日				

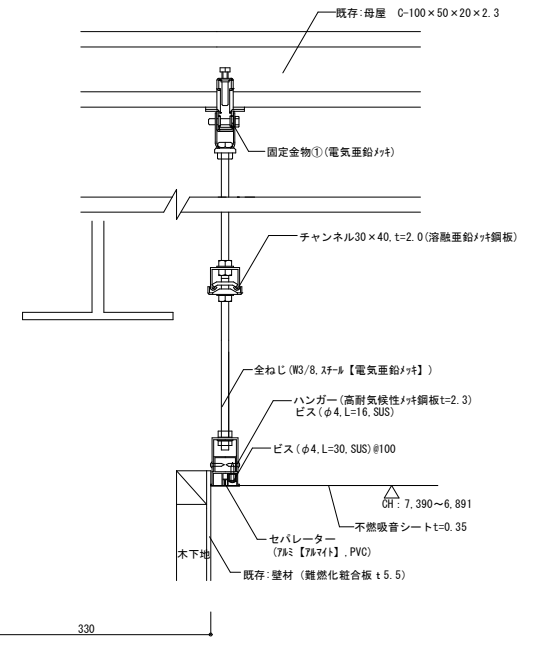


D断面 詳細図 S=1:5



E断面 詳細図 S=1:5

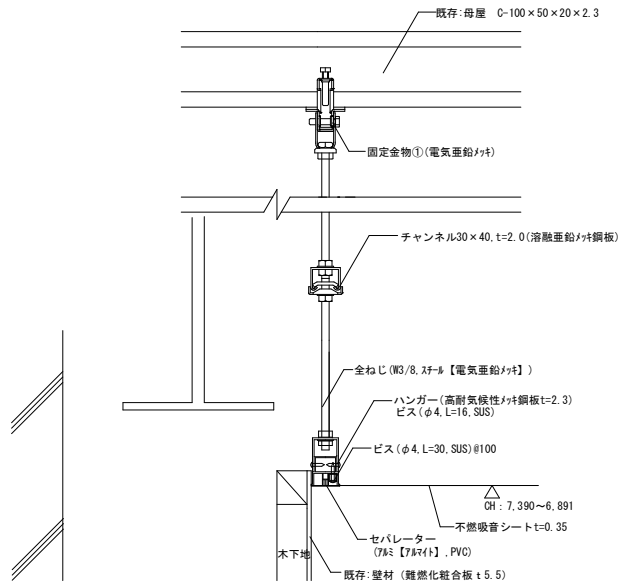
柱型部分



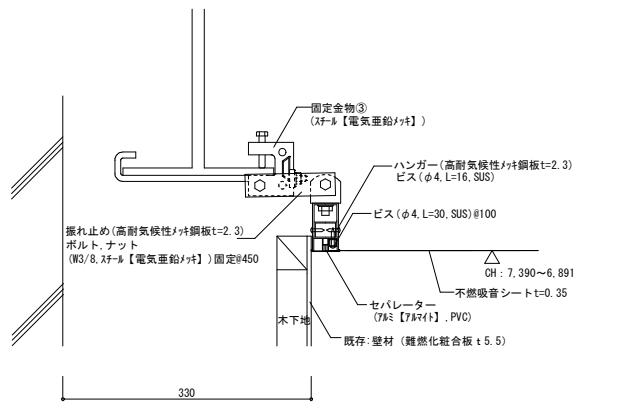
F断面 詳細図 S=1:5

天井面から梁下まで250未満

工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	膜天井 詳細図-3	図番	A-08	縮尺	1:5 (A2)	作図	令和 4年 11月 日				



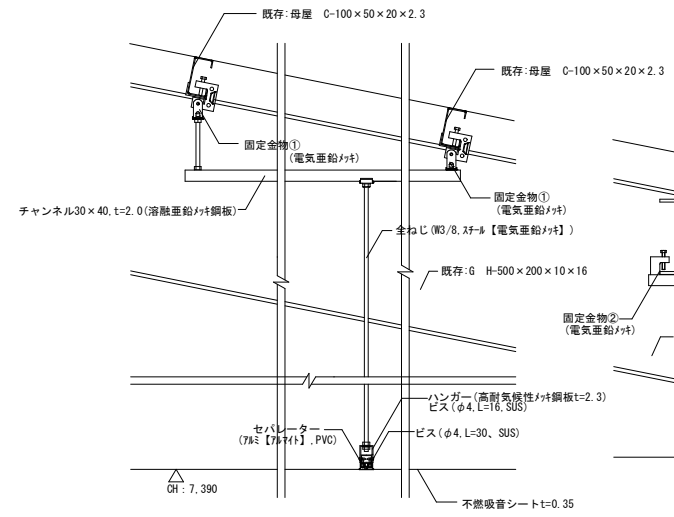
330



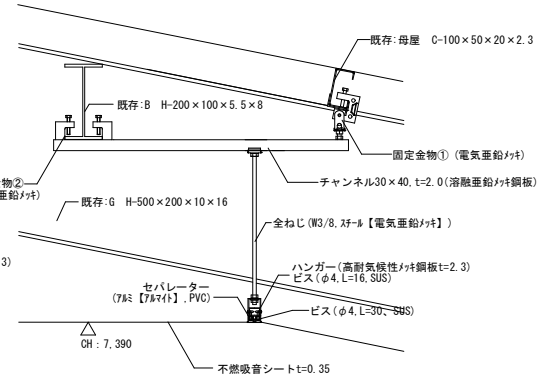
330

G断面 詳細図 S=1:5

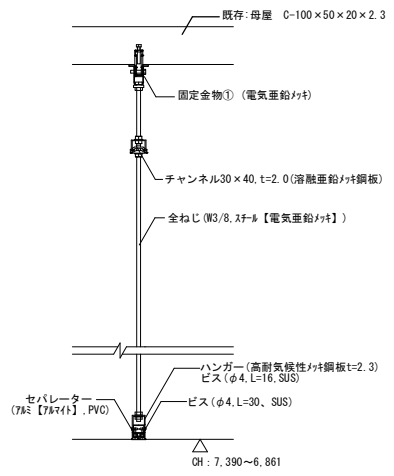
斜め天井部分



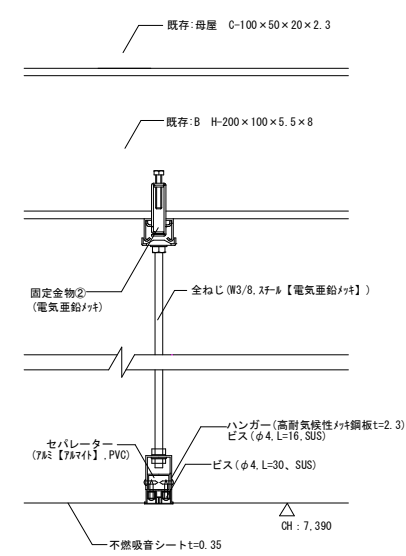
I断面 詳細図 S=1:10



H断面 詳細図 S=1:10

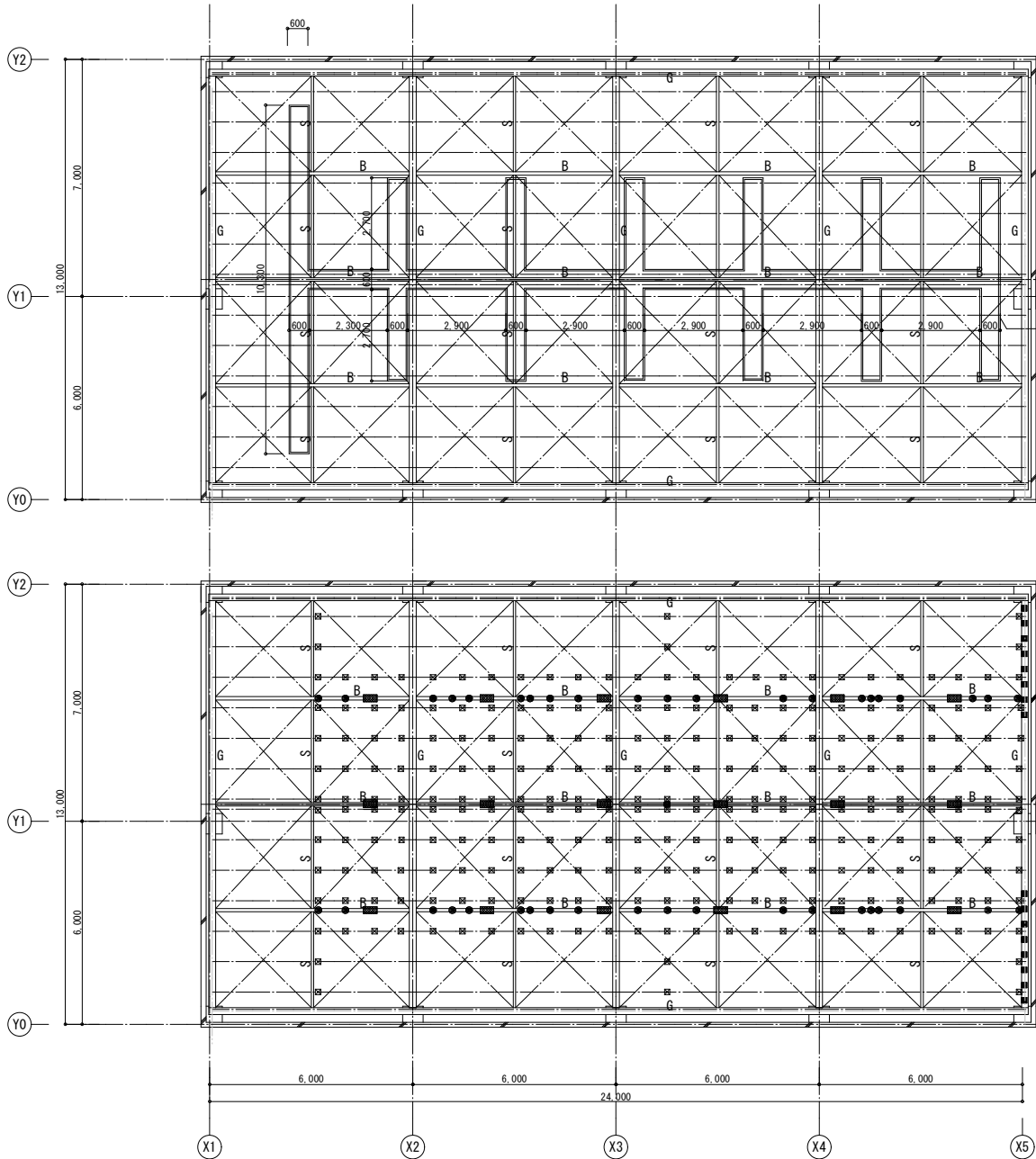


J断面 詳細図 S=1:10



K断面 詳細図 S=1:5

工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事		設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	膜天井 詳細図-4	図番	A-09	縮尺	1:5, 1:10(A2)	作図	令和 4年 11月 日			



既存部材リスト			
G	H-500×200×10×16	B	H-200×100×5.5×8
S	H-150×75×5×7		
	母屋	C-100×50×20×3.2	
	ブレース	Φ16	

キャットウォーク
L45×45×5@900吊り
合板足場板t30取外し・再取付

集会室屋根鉄骨伏図 S=1:100

耐火材撤去及び復旧

母屋 S=1:10
耐火材(吹付ロックウール)t10
☒ 258か所
L=0.2m
吊りボルト@900以下(端部からも含む)

小梁 B S=1:10

耐火材(吹付ロックウール)t25
■ 18か所
L=0.5m
● 42か所
L=0.2m

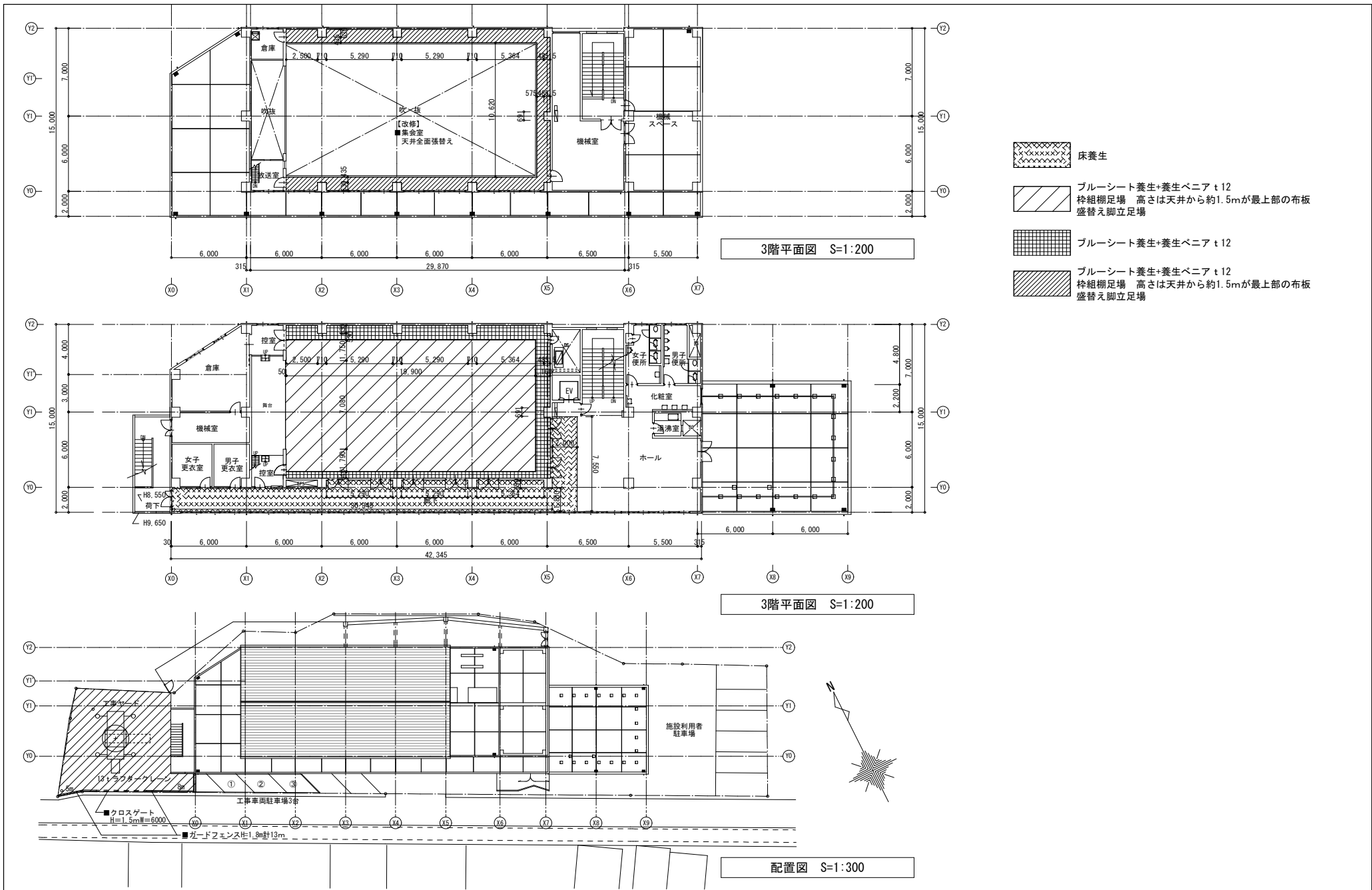
大梁 G S=1:10

耐火材(吹付ロックウール)t25
■ 16か所
L=0.2m

耐火材改修図 S=1:100

※膜天井下地取り付後、耐火材再吹付(半乾式吹付ロックウール)
※耐火材復旧は半乾式吹付ロックウール専用耐火補修材可能

工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事			設計者資格氏名		課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部公共建築課
図面名称	集会室屋根鉄骨伏図(既存)、耐火材改修図	図番	A-10	縮尺	1:100(A2)	作図	令和4年11月	日	



工事名	浦賀行政センター集会室天井改修工事		設計者資格氏名				課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
図面名称	仮設計画図 (参考)	図番	A-11	縮尺	1:200, 1:300 (A2)	作図	令和 4年 11月 日			